

## 講義レジュメ

講 師 坂野達郎

内容・テーマ

評価の意義と視点・評価の内容と方法 期 日 8月3日

講義は、社会計画策定ハンドブッカー計画の評価と実際（NIEP、平成 24 年）「第 1 章第 2 節『計画を評価する視点とその評価』」に基づいて下記の内容について解説します。

- 1 ニューパブリックマネジメントと成果評価
  - ・ 目的合理性を指導理念とした行政管理手法
  - ・ 目的手段合理性の徹底とニューパブリックマネジメント
  - ・ 統制強化と権限移譲の両立問題
  - ・ 「規則と階層性の原則」から「成果目標と分権の原則」へ
- 2 評価と計画の関係
  - ・ 計画の評価と政策評価・行政評価
  - ・ 評価のインセンティブと評価の技術
- 3 計画と評価の関係の要点整理
  - ・ 科学的学習過程としての計画過程
  - ・ ロジックモデル
  - ・ 評価のタイミングと評価指標の設定
  - ・ 計画の階層性と評価
- 4 評価を前提とした計画の構造と策定手順のイメージ
  - ・ 計画体系と評価体系の連動
  - ・ 目的一手段の論理的整合性
  - ・ 指標の代表制、包括性
  - ・ 検証可能性、解釈可能性
  - ・ ロジックモデルを媒介にしたサイクル

---

### 〔参考文献〕

- ・ 社会計画策定ハンドブッカー計画の評価と実際（NIEP、平成 24 年）「第 1 章第 2 節『計画を評価する視点とその評価』」（pp.6-23）
- ・ 社会教育推進の PDCA サイクルを確立するために必要とされる評価指標のあり方に関する調査 『4 地方公共団体の評価指標から見えてきたこと』